

67年豪雨の教訓 次世代へ

全国で死者・行方不明者369人、兵庫
県内でも98人の被害を出した1967（昭
和42）年7月の豪雨災害が今年で50年を迎
えるのに合わせ、県や神戸市などが、当時

の被災状況を撮影した動画を募っている。
土砂災害をテーマにしたシンポジウムなど
で活用する予定にしており、教訓の継承に
役立てる。
（斉藤正志）

7月で発生から50年

国土交通省六甲砂防 聞社などが「昭和42年
事務所や県、神戸市を 六甲山系豪雨災害50年
はじめ関係市、神戸新 行実行委員会」を設



豪雨で道路が川のようになった神戸市生田
区（現中央区）の宇治川商店街―いずれも1
967年7月

被災状況捉えた動画募集

県や神戸市

神戸市葺合区（現中央区）市ヶ原の土
砂崩れ現場。21人が生き埋めになった

立。計画している展示
会などでの啓発資料と
して募集を企画した。
67年7月5～9日の
総雨量は379・4ミ
に上り、38年の阪神大
水害（県内死者・行方不
明者695人）の46
1・8ミに迫った。時間
雨量75・8ミは、当時の
観測史上最多を記録。
神戸市をはじめ各地で
河川の氾濫や土砂崩れ

提供されたフィルム
などは、転写したDV
Dとともに返却する。
募集は8月31日まで。
実行委事務局（県砂防
課） ☎078・362
・3542

が起き、県内で住宅3
67戸が全壊した。
同市葺合区（現中央
区）市ヶ原では、世継
山が高さ約150ミ、
幅約50ミにわたって崩
落。21人が生き埋めに
なった。

県は同年に16ミフィ
ルムの記録映像を作
り、土砂で押しつぶさ
れた民家や復旧作業の
様子を収録。被害の実
態をより広く伝えるた
め住民らが撮影した動
画を集めることにし
た。

